

松本深志高校山岳部創部90年記念事業 趣意書

松中・深志山岳部OB会が発足して17年が経過いたしました。本年、現役山岳部は2年生が3名と少人数ではありますが、月0.5～1回ペースで山行を続けております。若者の山離れと言われて久しい昨今、現役・OB会ともそこそこの活動が続いていますのは、OB諸兄・諸姉のご支援によること大であると心より感謝申し上げる次第です。

さて、松本深志高校山岳部は大正7年（1918年）その前身である旧制松本中学校山岳部として創設され、以来550名以上の山の仲間を輩出してまいりました。本年は創部90年を迎えることとなります。

私たち松中・深志山岳部OB会では、創部80年目の1998年に記念事業として記念誌の発行や講演会、記念登山などを行ないました。90年目の今回は「それぞれの山々（自分たちの山登り）」をテーマとして、OB各位の旧交を温める場、ともに山を歩く機会を多く設け、自分たちの山登りをもう一度見つめ直したいと考え、『松本深志高校山岳部創部90年記念事業』を行うことにいたしました。そのために、90年記念事業のホームページを開設して山行計画を掲載したり、懐かしい上高地のベースキャンプで集うことも思案中です。さらに、今回の事業を通して現役部員数の確保に少しでも貢献し、10年後の100年記念に、現役・OB会員が盛大にこれを祝う事業へとつなげるための節目としたいとも思っております。

つきましては、記念事業の内容をご理解いただき、事業へのご後援をお願い申し上げます。詳細は、別添書類のそれぞれをご覧いただきたいと存じます。

『我が故郷の日本アルプスが柔弱なる都会の成金連のために蹂躪されるのは実に残念である。我々は率先して日本アルプスに登り、以て大いに剛健の気性を練らざるべからず、という理由で生まれた我が山岳部は第2回の登山を決行した。』

ここに、校友64号山岳部報（野球・剣道・徒歩・山岳の4部）の一部を紹介いたします。この崇高なる精神を絶やさぬため、何よりOB会員相互の親睦を深めるために、重ねて記念事業へのご参加とご協力をお願い申し上げます。

平成20年1月

松中・深志山岳部OB会 会長 二木昭至（7回）
松本深志高校山岳部創部90年記念事業実行委員会

実行委員長 加々美 隆（30回）

実行委員 白井 充子（14回）

〃 西村 清亮（16回）

〃 米倉 逸生（19回）

〃 穂苅 康治（20回）

〃 小野光比古（21回）

〃 古幡開太郎（22回）

〃 三輪 力（23回）

〃 植松 晃岳（24回）

〃 井上 禎夫（25回）

〃 上條 弘明（25回）

実行委員 篠原 敏宏（26回）

〃 小林 直樹（26回）

〃 新保 裕介（36回）

〃 牛山 貴史（42回）

〃 小林 充（42回）

〃 桜井 栄一（43回）

〃 羽生田 仁（43回）

〃 西村 直也（44回）

（その他第1回拡大実行委員会参加者一同）